



今回のクローズアップ欄は当施設の在宅部門を長きにわたり支えていただき、福祉に対して触れると火傷しそうなくらい熱い情熱を持ち続けている吉田ヘルパー主任の登場です。  
今までの経験を踏まえて、自身に投げかけるように私たちへ熱いメッセージをいただきました。

## 玉光苑 キラキラ瞳のスタッフ紹介 クローズup瞳

ホームヘルプ事業玉光苑 主任 吉田 浩美

今でも同じ部門で一緒に頑張っている友人の「大変やわあ。」の世間話をきっかけに始まった私の介護職人生、軒余糸余曲折で20年が過ぎました。器用で明るい友人をここまで育てます介護って…?

当時、「じゃ私も」と青臭い友達甲斐を理由に同じ道を目指し、実際に様々な方に支えて頂いて現在に至ります。実力ではないので大きな声では言えませんが、定年を意識し始めた今でも周りから呆れられる程この介護職人生に大きな意義を感じながら、熱くしつこく生きています。

一番のきっかけは、今は亡き3名の恩人というべきご利用者との出会いです。未熟な私にご自分の人生の一部を信じて託して下さったのと勝手に思い込んでいます。今のように丁寧な育成システムなどない時代、出来ない不安を振り払うように必死で「この方と一緒に頑張りたい。」とただただ欲を張っていました。

認知症の方と終末期の方でした。勝手に「繋がることが出来たかも…」

と思っているので、本心はあちらで同じ場所に改めて誇られる幸運に恵まれたら、何ってみたいと、そしてお礼を伝えたいと思います。

今、もしこの仕事で立ち往生している方がいたら(自分も何度もそんなことがあります)、どうか焦らないで欲しいと思います。所詮人間同士、ましてやご利用者様は人生の達人です。今の自分ができる精一杯で関わることと必ず専門性に向けて努力を続けることで、ご利用者様から必ず答えを頂けると信じます。

正直、眠れない日もあります。「私は大丈夫!」なんて毛頭言えませんが、ご利用者様の皆さまや大切なヘルパー仲間の沢山の笑顔が、今も変わらぬ私のエネルギー源です。

専門職の学びを深めるとともに恩人から受け取った想いを大切な人々に伝えることが自身の使命と感じています。

「時には一緒に立ち往生しましょう。自分たちの未来のためにも。」

## ホームヘルパー奮闘記 vol.4



今のお話は  
ヘルパー  
松本 千佳子  
です。



AiALプロジェクト進行中!!



AiAL

上京方 . . .

近頃、「何が出来るんだろう?」そんな地域があるのは、ご存知ですか?

広さ 3300 年、まさに、上京方地域の中心に . . .

年齢を越え、性別を越え、境遇を越えて、みんなが笑顔でいられるような愛のある場所が 2018年に生まれます。

こんなにちは  
んにちは!  
玉光苑です!

## topix



### 平成29年度 入社式

4月1日 入社式が執り行われました。今年度は5人の採用があり、玉光苑の各事業部に配属となりました。まだ慣れない業務に意図苦労しているところだと思いますが、必死に努力している姿を目にします。一緒に頑張っていきましょう。



### 新任職員研修

4月1日の入社式後から3日間に亘り、前年度の中途採用職員も対象とした「新任職員研修」が行われました。ファニフェイス山村先生、ヒーリングフォレスト明石先生と当施設ではお馴染みの外部講師にご依頼をしました。ルーキーたちの表情は緊張感が漂っていましたが、愛のある講義・演習を通してルーキー間の絆が芽生えたように感じられます。玉光苑に新風を巻き起こしてくれるこを期待しています。



◎次回は、9月号です。情報満載でお届けします!お楽しみに!

新年がスタートしました。希望に満ちたルーキーたちが笑顔で働く様子を見ているこちらも頑張ろうと気持ち新たになります。更に今年に入り、スタッフの結婚、妊娠、出産ラッシュと嬉しい知らせが続いています。新婚さんも多い職場なので、どなたか「新婚さんいらっしゃい!」出ていただきたく深い期待をしている、「YES・NO枕」の意味を最近知った私です…。次の新聞は夏祭りなどイベント色満載となる予定ですが、日常の些細な幸福感が伝わる新聞作りを目指していますので、今年度もお楽しみに!!

編集後記

# 玉光苑新聞

「玉光苑News」～情報、笑顔をお届け～

vol. 12

2017 5月号 発行元/玉光苑

## ルーキー活躍中!

今年度、5名の新しい仲間が加わりました。

緊張の入社式から1ヶ月が経過して、「新風を吹かせる」をキャッチフレーズにそれぞれの所属で活躍しております。

3日間の熱い新任研修を経て、施設理念である「利用者本位」を実現すべく奮闘しているところです。

そんな熱いルーキーたちを代表して今回、作業療法士としては初の採用となった柳原 亜希子さんに想いを語っていただきました。



### 「利用者本位」

ー人間らしく生きること。  
そして自分らしく生きることー<sup>ー</sup>  
チームケアで実践していきます

この度、平成29年4月より玉光苑に就職させていただきました。これまで精神科の認知症病棟と整形外科・脳神経外科などの病院で勤務でしたので、こちらでは福祉の仕事を一から学んでいきたいと思います。

これからは、これまでの経験を活かしつつ、違う視点を持って臨む必要性を感じております。例えば、急性期であれば疾患や怪我に対しての基準となる治療方針(治療プロトコル)があり、各部署それに則って治療を行っておりました。

しかしながら、福祉の場合は治療を終了している場合が多く、治療プロトコルが必ずしも当てはまらないと思っております。個々の利用者様の生活環境や生活習慣、趣味・嗜好まで考慮した評価を行いオーダーメイドのリハビリテーションプログラムの立案が必要であると考えております。

当然ながら各症状のエビデンスに基づいた、結果の期待できる内容としていきたいと思います。この事を私の目標とし、一日でも早く玉光苑の職員として認めて頂けるよう頑張ってまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

作業療法士 柳原 亜希子

例 年に増して桜の開花を待ち望む中、当法人は希望満開に咲き誇った5名の新任職員が入職致しました。

新卒の方、福祉経験豊かな方、経験はそれぞれありますが、法人の素晴らしい人材として期待を持って辞令交付式を執り行いました。

福祉業界全体が人材確保に苦慮する昨今、各々が専門資格を持ち、自分の力を生かしつつ未来を切り開いて歩もうとする志に心からエールを贈りたいと思います。

さて当法人、新年度の取り組みの一つとして諸規則の見直しを行います。目的は働く職員が幸せになる規則、要は専門資格を持ち、福祉の仕事を志した職員が子

育て介護等に選択ができ、法人の大切な人材として宝として長く仕事を続けていける仕組みを構築したい、更には質の高いサービスを提供することにより地域福祉の充実を図ることは勿論、法人理念である「利用者本位」に徹した事業所として信頼されるよう日々、研鑽を重ね努力し続ける所存です。

今後ともご協力、ご指導のほど宜しく願い申し上げます。

社会福祉法人 靈山会 理事長  
特別養護老人ホーム 玉光苑 施設長

秦 勝子

